

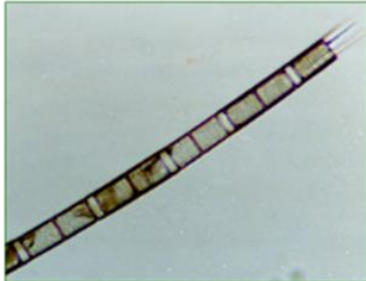
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第28報～

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係
令和2年10月12日

1. 最も数が多かった種類(優占種)

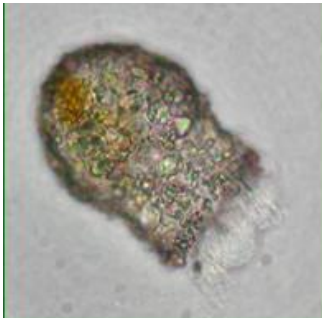
植物プランクトン第1優占種



Aulacoseira granulata
(アウラコセイラ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。殻の側壁に斜めに走る点紋列がある。群体の両端に顕著な長い棘状突起を有する。

動物プランクトン第1優占種



Codonella cratera
(スナカラムシ)
纖毛虫類

壺のような固い殻を持ち、その殻は砂粒を含む。色は黒色で、前が開いていて、その後ろにくびれがある。殻の中に無色透明の纖毛虫が入っている。

コメント

植物プランクトンは珪藻に属するアウラコセイラ グラヌラータ (*Aulacoseira granulata*) が細胞数・体積いずれで見ても優占種となった。網別の体積では、珪藻類が総体積の約57%、褐色鞭毛藻類が約20%、緑藻類が約15%を占めた。動物プランクトンは先週に引き続き、纖毛虫類のスナカラムシ (*Codonella cratera*) が500個体/Lで優占種となった。ピコ植物プランクトンは今週も少なく7,100細胞/mLとなり、輝橙色のものが82%、深赤色のものが18%であった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数(個体数)

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/L)
纖毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	500

第 2 優 占 種		個体数 (個体/L)
甲 殻 類	Nauplius	100

* 個体数は、プランクトンネットNXXX25(目合い41μm)で1000倍濃縮したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
環境監視部門 生物圏係

(2) 植物プランクトン

令和2年10月12日

第28報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)		
		数	体積
(藍) <i>Microcystis aeruginosa</i> *	1		
(藍) <i>Microcystis</i> sp.*	4		
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> *	2		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	20		
(珪) <i>Melosira varians</i>	4		
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i>	280	◎	◎
(珪) <i>Aulacoseira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	40		
(珪) <i>Aulacoseira ambigua</i>	80		
(珪) <i>Cyclotella</i> sp.	80		
(珪) <i>Stephanodiscus suzukii</i>	20		
(珪) <i>Synedra acus</i>	1		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i>	40		
(珪) <i>Cymbella</i> sp.	20		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	20		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Peridinium</i> sp.	2		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	1		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	160	○	○
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	40		
(緑) <i>Oocystis</i> sp.	80		
(緑) <i>Actinastrum hantzschii</i> var. <i>fluvatile</i>	16		
(緑) <i>Scenedesmus</i> sp.	80		
(緑) <i>Mougeotia</i> sp.	2		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	4		
(藍) 藍藻綱	7	0.6	3.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	20	1.8	1.3
(珪) 珪藻綱	605	55.2	57.2
(渦) 渦鞭毛藻綱	3	0.3	2.8
(褐) 褐色鞭毛藻綱	240	21.9	20.2
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	222	20.2	15.0
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細胞 数	1097	総体積 (μm^3)	1.41E+06
種 類 数	25		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/mL)
ただし*印の種は群体数(群体/mL)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
注3) ★: 異臭原因プランクトン
注4) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。



ピコ植物プランクトン
1,000倍G励起で撮影

(3) 見つかったピコ植物プランクトンとその数(細胞数)

ピコ植物プランクトン数	細胞数/mL
藍藻類 <i>Synechococcus</i> sp.	7,100

注1) プランクトンを大きさ別に分類したとき、大きさが0.2~2 μm (1 μm は1mmの1,000分の1)の最も小さなランクのものをピコプランクトンと呼んでいます。この中で光合成色素を持つものをピコ植物プランクトンと呼んでいます。ピコ植物プランクトンは細菌と同じくらい小さいので、落射蛍光顕微鏡を用いて観察し計数します。G励起(緑色光照射)で輝く種類と深赤色に見える種類があります。